

哲学・思想論叢

第42号

「ウヂカバネ」と武士道

—— 姓氏研究会編『姓氏明鑑』と

井上頼圀・中垣孝雄『教育勅語模範講話』を巡って——

..... 河合一樹..... 1

西欧世界における老子と道教情報に関する紹介と受容..... 井川義次..... 15

『純粹理性批判』超越論的方法論におけるカントの信仰概念

—— W・C・スミスによる理解との関連で——..... 保呂篤彦..... 53

シュタイナーとフランク

倫理的個人主義と良心..... 寺石悦章..... 68

J・ヒック宗教多元主義の中立性を超えて

—— 「絶対無」的宗教多元主義にむけた試論——..... 松田顕栄..... 84

第四十四回学術大会発表要旨..... 28

彙報..... 33

筑波大学 哲学・思想学会規約 (平成十九年十月二十七日改正)

名称

第一条 本会は筑波大学哲学・思想学会と称する。

目的

第二条 本会は哲学、倫理学、宗教学、比較思想学、現代思想学等
広く哲学・思想に関わる学問諸領域の研究およびその普及
をもつて目的とする。

事業

第三条 本会は左記の事業を行う。
一、研究会の開催 二、講演会の開催 三、機関誌『哲学・
思想論叢』の発行 四、その他

事務局

第四条 本会の事務局は筑波大学大学院人文社会科学研究所哲学・
思想専攻内に置く

会員

第五条 左記の者を会員とする。
一、東京高等師範学校、東京文理科大学、東京教育大学、
筑波大学の教官、教官であった者、卒業生で入会を希
望する者。

二、筑波大学の大学院生で入会を希望する者。
三、その他本会の趣旨に賛同し入会を希望する者で評議員
会の承認をえた者。

第五条の二 左記の者をもつて準会員とする。準会員は議決権をも
たず、左記の権利のみを有するものとする。

一、団体会員、本会に団体として入会を希望する者で、評
議員会の承認をえた者、団体会員は機関誌の配布を受
けることができる。

二、学生会員、筑波大学の学群学生で入会を希望する者、

学生会員は機関誌の配布を受け、また大会等に出席す
ることができる。

第六条 会員は会費一年額四千元、(六十三年度分までは三千元)
を納入するものとする。

第六条の二 準会員は左記の会費を納入するものとする。

一、団体会員 年額五千元
二、学生会員 年額千円

第七条 本会は総会の推薦により終身会員を置くことができる。

役員

第八条 本会に左記の役員を置き会の運営に当たる。

一、会長(一名) 評議員の互選による。任期二年。
二、評議員(二十名) うち十五名は会員の互選により、
残りの五名は会長の推薦による。任期二年。
三、事務局代表(一名) 評議員会においてこれを委嘱する。
任期二年。

四、幹事(若干名) 評議員会においてこれを委嘱する。
五、会計監査(二名) 総会においてこれを選出する。任期
二年。
六、編集委員(若干名) 評議員会においてこれを委嘱する。
任期二年。

総会

第九条 本会は毎年一回総会を開くものとする。但し、必要ある場
合には臨時総会を開くことができる。

付則

第十条 本会規約の改正変更は総会の決議による。

以上

『哲学・思想論叢』論文執筆規定

- 一 (投稿資格) 当該年次分までの学会費を完納している本学会員。
- 二 (論文の要件) 哲学・倫理・宗教等に関する未発表の学術論文・書評論文。応募時点で他の学会誌などに投稿中ではないもの。
- 三 (査読・編集) 編集委員会の責任において、査読者を選定し、査読を依頼し採否を決定する。査読者の報告に基づき、編集委員会は執筆者に修正の依頼をすることができる。不採用のものについては通知する。編集委員会は、投稿論文とは別に、学術大会における招待講演者などに執筆を依頼することができる。
- 四 (論文の提出および返却) 電子データにてメール添付で提出する。締切日を厳守のこと。提出論文は一切返却しない。
- 五 (執筆要項)
 - 1 原則として日本語または英語とする。それ以外の言語での執筆を希望する場合は、あらかじめ編集委員会に相談すること。執筆言語が母語でない場合は、ネイティブによるチェックを受けること。
 - 2 字数(注を含む)は、和文の場合、一万六千字以内(厳守)。欧文タイトルをつける。欧文の場合、六千語以内(厳守)。書式は、縦書き、横書きのいずれも可。注は、本文末に一括して記載すること。
 - 3 (稿料) 支払わない。
 - 4 (抜刷) 希望者実費負担(三十部に限る)
 - 5 (執筆者負担) 特殊製版(図版・写真版等)・特殊活字(ギリシア文字・ロシア文字等)の使用等で特別に費用がかかる場合は、執筆者負担とする。
 - 6 (校正) 原則再校まで行う。それ以後は必要に応じて行う。
 - 7 (付則) 掲載の論文等は、筑波大学電子図書館システムに登録・公開される。

付記 この規定は、令和四年十月二十三日より施行する。

哲学・思想論叢 第四十二号

令和六年一月三十一日発行 会員配布

編集兼 筑波大学哲学・思想学会

発行人

編集委員 井川 義次

志田 泰盛 編集委員長

橋本 康二

板東 洋介

保呂 篤彦

(五十音順)

事務局代表 吉水 千鶴子

土井 裕人

(正副の順)

印刷 茨城県水戸市松が丘一三三三三

佐藤印刷株式会社

電話 〇九一五一一二二三

◎ 学会関係の事務は左記で行っています。

〒三〇五―八五七―一

つくば市天王台一―一―一

筑波大学大学院人文社会科学研究所

哲学・思想専攻 気付

筑波大学哲学・思想学会

電話 〇二九・八五三・四一三三三

郵便振替 〇〇三二〇―九一―一七七四七

MISCELLANEA PHILOSOPHICA
THE TETSUGAKU SHISŌ RONSŌ

No. 42

January 2024

Ujikabane and Bushido: on Some Discourses
about Family Name in Taisho period

Kazuki KAWAI 1

Introduction and Reception of Lao Zi and Taoism in the Western World

Yoshitsugu IGAWA 15

Kant's Concept of Belief in the Transcendental Doctrine of
the Method of *Critique of Pure Reason*:
In Relation to W. C. Smith's Understanding

Atsuhiko HORO 53

Ethischer Individualismus und Gewissen,
Versuch über einen Vergleich zwischen R. Steiner und V. E. Frankl

Yoshiaki TERAISHI 68

Beyond "Tradition-Neutrality" in John Hick's Religious Pluralism:
A Preparatory Study for a Model of Religious Pluralism Grounded
in "Absolute Nothingness"

Kenei MATSUDA 84

published by

UNIVERSITY OF TSUKUBA PHILOSOPHICAL ASSOCIATION

Office: 〃 Doctoral Program in Philosophy, Graduate School of

Humanities and Social Sciences University of Tsukuba

IBARAKI 305-8571 JAPAN